

平成 29 年度 事業報告書



社会福祉法人 生活・文化研究所

法人本部

共同生活ホーム 移山寮

多機能型障害福祉サービス事業所 移山寮

相談支援事業所 移山寮

I. 法人の概要報告、重点事項の実施状況

改正社会福祉法が全面施行となり、①経営組織ガバナンスの強化、②事業運営の透明性の向上、③財務規律の強化、④地域における公益的な取組を実施する責務への取組みの着実な実施に向け、順次対応を進めてきた。障害福祉サービス事業においても県の認証評価制度が始まり、法人規模に関わらず高度な経営・事業運営に取り組む必要性がますます高まっており、平成29年度青森県社会福祉法人経営労務管理改善支援事業を活用し、課題としていた各種マニュアルの整備とキャリアパス制度の見直しに着手した。

改正社会福祉法の趣旨を理解し、福祉サービスの担い手である社会福祉法人の経営のあり方を見直し、利用者のニーズに基づいた安定したサービス提供とその質を高めていくことを目指し、具体的な取組みを更に進めていきたい。

中期経営計画に基づく今年度の「重点項目・基本施策」の取り組み状況は、以下のとおり。

1. サービスの質の向上

- 委員会が中心となり、苦情解決体制・虐待防止体制を推進。第三者委員の定期訪問及び相談日の設定、全職員対象に虐待防止研修及びチェックリスト、利用者・家族満足度調査を行った。
- 支援業務マニュアル化に着手し、業務の標準化を図っている。
- 改正個人情報保護法に基づく規程やマニュアルの見直しは次年度継続して取り組む。

2. 利用者の安全・安心の確保

- 非常災害対策計画、防犯対策マニュアルを整備。五戸警察署地域課長を講師に招き、防犯研修会を開催した。
- 事故・ヒヤリハット事例の収集、安全衛生点検を定期的を実施し、衛生状態や危険個所のチェックを行った。
- 八戸保健所による給食調理場の訪問指導が実施され、指導内容に基づき改善を行った。

3. 地域交流、家族会・関係機関・団体との連携

- 五戸まつり・まける市の見学、地元小中高等学校との交流、イベント開催、販売活動等の機会を継続して設け、積極的に地域へ出向き、交流することで、事業所や利用者への理解を得られるよう努めている。
- ご家族様には家族会行事や第三者定期訪問、生産活動や行事への手伝い等をお願いし、来所の機会を設け、互いに協力し合え得る関係づくりに努めている。
- 市町村・関係機関等との連携・ネットワーク体制の強化に努めている。

4. 職員の確保と定着

- 定年退職後の人材の確保が積極的に行われている一方、現役世代の人材確保と育成が急務である。県の助成金を活用しキャリアパス制度の見直しとマニュアル整備に着手しており、働きやすく将来を見通せる仕組みづくりの検討を進めている。

5. 人材育成の強化

- 個別研修計画・目標管理制度による自己啓発意識の醸成を図っている。また、委員会を中心に年間研修計画の策定及び管理を行い、内部研修会の開催や外部研修情報の周知等を行っている。今年度、人材育成のための評価制度の見直しに着手し、人材育成の意識向上と理解を深めることで、実践できる人材育成の執行体制の構築を目指している。

6. 経営マネジメント力の向上

- 各種セミナー等に参加し、改正社会福祉法の理解と対応に努めている。改正法による理事会・評議員会の運営、決算業務、財務諸表等電子開示システム運用等を順次行った。また、平成30年度報酬改正についての情報把握と共有化に努めた。
- 地域における公益的取り組みとして「生活困窮者就労訓練事業」に加え、新たに「青森県しあわせネットワーク」（青森県社会福祉協議会）へ加入。参加法人として総合相談トータルサポートを行い、地域への社会貢献活動に取り組んでいる。
- ホームページはリニューアルし随時内容を更新し、情報公開ルールに則った情報公開に努めている。広報誌は今年度発行できておらず、次年度は計画的な発行に努める。
- 指導監査ガイドラインや各事業の自主点検、労務関係の規程類の見直しが未達成事項となっており、次年度継続して取り組む。

7. 業務の合理化

- 支援入力ソフトの更新時期にあたり、より業務効率化を図れるよう、システムの再検討を行った。11月に新たな福祉ソフトを導入した。（NDソフト、ほのぼのmore）



H29.8月 防犯研修会



H30.3月 キャリアパス制度研修会

II. 実施事業

< 第二種社会福祉事業 >

- 共同生活ホーム移山寮（事業所番号：0221200025）
サービス種類・定員：指定共同生活援助（介護サービス包括型）・定員 5 名
適用年月日：平成 26 年 4 月 1 日～平成 30 年 9 月 30 日

- 多機能型障害福祉サービス事業所移山寮（事業所番号：0211200043）

サービス種類	指定生活介護	指定就労継続支援B型
適用年月日	平成 29 年 1 月 1 日～平成 34 年 12 月 31 日	平成 27 年 4 月 1 日～平成 33 年 3 月 31 日
定 員	10 名	20 名

- 相談支援事業所 移山寮（事業所番号：0231200056（者）／0271200065（児））
サービス種類：指定特定相談支援事業、指定障害児相談支援事業
適用年月日：平成 26 年 4 月 1 日～平成 32 年 3 月 31 日

< 第二種社会福祉事業以外の事業 >

- 生活困窮者就労訓練事業（事業所番号：0200000022）
定 員：8 名
認定日：平成 28 年 6 月 15 日

III. 地域における公益的な取組

1. 生活困窮者就労訓練事業

三戸地域自立相談窓口等と連携をとりながら、生活困窮者への就労支援・中間的就労の場を提供している。今年度は 1 名の受入があった。

【受入実績】

対象者	雇用型・非雇用型の別/利用期間	支援内容等
30代男性	非雇用型/H29. 7. 11～9/25	農作業等に従事。昼食を無償提供した。自ら働き先を見つけ終了となった。

2. 社会福祉法人の社会貢献活動「青森県しあわせネットワーク」参加（青森県社協）

参加社会福祉法人として総合相談（トータルサポート）を行う。コミュニティソーシャルワーカー養成研修に参加しコミュニティソーシャルワーカーとしての基本的な視点や手法の習得に努めた。

3. 地域への活動場所提供

子どもあそびの広場（五戸町放課後子ども教室推進事業）へ畑の一部を活動場所として提供している。春に植え付け、秋に収穫作業を行っている。

4. 地域住民対象の行事開催

年1回の移山寮収穫祭やグリーン・ツーリズム体験等を開催し、地域住民との交流や障害者への理解を深めてもらう機会としている。

5. 地域行事等への協力

まちカフェ（五戸町地域包括支援センター、介護予防と認知症早期発見の活動）や地域で行う事業等への参加・協力。（出店やステージ出演等）

6. ボランティア・職場体験等の受入

一般ボランティア、小・中学生の福祉職場体験、教育事務所10年次研修社会体験の受入れ。

IV. 法人本部

1. 理事会

開催日	出席者数		主 な 議 案 等
	理事	監事	
6月1日	6名	2名	平成28年度事業報告、計算関係書類及び財産目録、監事監査報告、定時評議員会の日時・場所・議題等、マネジメントリスクプロテクション保険の保険料の変更
6月16日	6名	2名	理事長選任、経理規程の改正、情報公開規程（新設）、監事監査規程（新設）
11月16日	6名	1名	福祉ソフトの購入、平成29年度補正予算案、（報告）理事長職務執行状況報告
決議の省略 2月24日			評議員の退任および後任の評議員候補者の選出、評議員選任・解任委員会の開催事項
3月26日	6名	2名	平成29年度補正予算案、平成30年度事業計画案、重要な役割を担う職員の任免、平成30年度当初予算案、（報告）社会福祉充実残額見込

2. 評議員会

開催日	出席者数	主 な 議 案 等
6月16日	評議員5名（欠2名） 監事2名、理事2名	平成28年度計算関係書類及び財産目録、新役員の選任、（報告）H28年度事業報告

3. 監事監査会

日 時：平成 29 年 5 月 22 日 13：00～

場 所：移山寮本館 多目的室

出席監事：三浦啓子、菊池瑞穂

立会い者：大西一男、大西祐子、小泉文乃

4. 評議員選任・解任委員会

日 時：平成 30 年 3 月 9 日 13：30～

場 所：移山寮本館 多目的室

出席者：委員 5 名、理事 2 名

5. 施設整備・備品等の購入

<その他の固定資産、備品等>

月	品 目	購入先	目 的	金 額
4 月	プレハブ 1 棟	(株)ほくとう	農場作業場の拡張	270,000 円
	仮設トイレ設置	〃	衛生面・利便性向上	75,600 円
	会計ソフト・クライアント追加	満喜(株)	職員増員	382,320 円
	ノートパソコン (レノボ)	(株)文屋	業務効率化	92,880 円
	防犯カメラの設置 (国庫補助)	青森総合警備保障	防犯強化	648,000 円
	職員用机・イス 1 式	(株)文屋	職員増員	59,940 円
5 月	ネットワークHDD・USB-HDD	(株)テクノル	経年買替え・バックアップ機能強化	49,896 円
6 月	洗濯乾燥機	高賢燃料	経年買替え	140,000 円
7 月	インクジェットプリンタ	(株)文屋	経年買替え・ランニングコストの向上	60,480 円
9 月	ノートパソコン (富士通)	〃	職員増員	98,280 円
10 月	ワンタッチテント	マツオスポーツ	収穫祭や販売で使用	100,000 円
	屋根・壁の塗装工事	田守塗装店	経年化による	1,200,000 円
11 月	居室用ストーブ	高賢燃料	経年買替え	73,656 円
	福祉ソフト (ND ソフトほのぼの more)	東北エムピー	業務効率化	4,024,080 円

6. 職員配置 (H30.3月末現在)

区 分	職 名	常 勤	非常勤	常勤換算数	
共同生活生活ホーム 移山寮	管理者	1名			
	サービス管理責任者	兼1名			
	世話人		2名	1.0	
多機能型障害福祉 サービス事業所移山寮	管理者	兼1名			
	サービス管理責任者	1名			
	生活 介護	嘱託医師		1名	0.1
		看護職員		1名	0.5
		生活支援員	1名		
	B 型	職業指導員	専1、兼1名	8名	4.2
		生活支援員	1名	1名	0.6
		目標工賃達成指導員	1名		
	調理員		2名	1.2	
	送迎担当者		2名	0.6	
事務職員	1名	1名	0.6		
相談支援事業所移山寮	管理者兼相談支援専門員	1名			
	相談員	兼1名			
合 計		10名	18名	8.8	

7. 苦情受付状況

件数：1件

内容：日中活動中の目配りについて

8. 事故発生状況

件数：6件

内容：利用者のケガ（軽い捻挫1件、転倒による骨折1件〔所轄庁へ報告〕）、
製品への異物混入（1件）、車両接触（2件）、貴重品盗難（1件）

V. 共同生活ホーム 移山寮（共同生活援助）

- 4月1日より新たな入居者を迎え、グループホームは定員・現員とも5名となった。日中活動先は、入居者5名のうち1名は一般就労（4月～11月までの期間）、他は当法人の就労継続支援B型及び生活介護を利用した。
- 「利用者一人ひとりが安定した生活を送ることのできる場所」となるよう、利用者本位の視点に立ったサービス提供に努めた。2名の世話人が連携し、コミュニケーションを取りながら、食事の他、生活面、健康面、掃除面、小遣い帳への記入等、細やかな支援を行った。
- 個別のニーズや特性を考慮し、一人ひとりの抱える課題について個別支援計画に沿って継続的に取り組み、よりよい日常生活を送れるような支援に努めた。
- 利用者の体調管理については、日中活動先スタッフと連携を取りながら支援を行った。
- 例年の町内会の環境整備活動や月1回行われているリサイクル活動にも継続して参加し、また希望者は五戸まつりに参加するなどし、地域交流を積極的に図っている。

1. 利用者の状況（H30.3.31現在）

定員	利用者数	平均年齢	性別	障害支援区分の内訳
5名	5名	50歳	男5	【区分2】2名、【判定なし】3名

2. 開所日数と利用状況（H30.3.31現在）

※平均利用者数 5.0 人/日

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
サービス提供日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365日
サービス提供延数 (1日の利用者数合計)	150	155	150	155	155	150	155	150	155	155	140	155	1,825日

3. 主な年間行事

博労町自治会リサイクル活動	年8回	4月、6月、7月、8月、10月（2回）、12月、3月
入居者会議	年6回	4月、6月、8月、10月、12月、2月
誕生会	年4回	8月、11月、1月、3月
利用者健康診断（B型と合同）		9月
協力医定期健診（B型と合同）		6月、2月
消防訓練		7月、12月

VI. 多機能型障害福祉サービス事業所 移山寮（生活介護・就労継続支援 B 型）

生活介護が開設して1年が経過した。「自分の活動を通して楽しさを見つけながら自分の人生を主体的に生きて行く支援」を柱とし、基本的な生活習慣の確立と健康の維持・精神的な安定を図ってきた。個々の特性が見えてきて、それに合わせたサービス提供を行うと共に、利用者の意思を尊重した支援を目指している。

毎日の健康チェック、月1回の嘱託医健診を行い、利用者の健康面に配慮するとともに、週2回の入浴日を設け、衛生保持に努めた。日中活動では、本人の意志を尊重しつつ、特徴・能力を考慮した生産活動・創作活動の場の提供に努めた。

就労継続支援 B 型では、引き続き「個々の強みを生かした利用者中心の生産活動」を目指し、利用者の力を生かす環境作りに取り組んできた。昨年度新築した食品加工場では環境も整い、利用者主体で行える仕事の幅がさらに広がり、流れを明確化・共有化することでさらに作業が効率的になった。花卉や雪下人参の栽培、にんにく作業等の新たな生産活動にも取り組み収益の向上を図っている。売上は目標を大きく超え1,484万円、工賃支給総額は782万円となった。一人当たりの平均工賃月額が25,007円、時給額は267.6円といずれも過去最高となった。

利用者の地域での自立した生活のため、工賃向上の取組みはますます重要となっており、平成30年度報酬改定では、平均工賃月額に応じた基本報酬が設定された。次年度以降の新たな工賃向上計画に基づき、収益性や生産体制のさらなる改善に向けて継続的に取組むこととしている。

1. 利用者の状況（H30.3.31現在）

事業	定員	利用者数	平均年齢	障害種別	住居のある地域
生活介護	10名	9名 (男性5、女性4)	55歳	知的5/身体3/ 精神1	五戸9
就労継続 支援 B 型	20名	27名 (男性18、女性9)	43歳	知的21/精神6	五戸21/新郷3/ 十和田2/八戸1

2. 開所日数と利用状況（H30.3.31現在）

＜生活介護＞ ※平均利用者数6.7人/日

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
サービス提供日数	20	20	22	20	19	21	20	20	20	20	20	21	243日
サービス提供延数 (1日の利用者数合計)	148	149	153	138	135	139	123	135	122	120	125	147	1,634日

※前年度平均利用者数・・・6.1人[前年度比110.3%]

<就労継続支援B型> ※平均利用者数 18.9 人/日

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
サービス提供日数	25	30	26	26	27	26	27	24	25	24	21	25	306日
サービス提供延数 (1日の利用者数合計)	489	502	512	490	459	493	482	473	475	439	457	509	5,780日

※前年度平均利用者数・・・21.2人[前年度比 89.0%]

3. 主な年間行事

月	事業所行事等	交流行事・見学等
4月	家族会総会・事業説明会	
5月	交通安全・美化活動 熱中症等予防啓発・健康測定	民生児童委員来所じゃがいも植え 新郷村チャレンジデー参加 ※「あそびの広場」へ活動場所の提供
6月	第三者委員定期訪問&相談日① 消防訓練① 協力医診察（田中医院）①	グリーンツーリズム玉ねぎ収穫体験（10名） 民生児童委員農作業ボランティア
7月	利用者会議&学習会 利用者自主活動（買い物学習） 家族会バス旅行（五所川原・田舎館） 協力医診察②	五戸中職場体験受入（2名参加） シャーローム見学・来所（19名） 三戸町ボランティアスクール受入（2名）
8月	大掃除 第三者委員定期訪問&相談日② 農業研修会（野菜の不思議な力）	三八教育事務所10年次研修（8名）
9月	五戸まつり見学 利用者健康診断	川内中学校福祉体験学習 三戸郡育成会愛の輪レク参加 五戸町民生児童委員ジャガイモ収穫 五戸高校シソの実収穫ボランティア 家族会シソの実収穫の手伝
10月	消防訓練②	切谷内小学校来所ボランティア 障害者地域生活推進研修会・体験発表 福祉バザー&演芸会（出演・見学）
11月	収穫祭バザー インフルエンザ予防接種（田中医院）	
12月	利用者会議 大掃除	マックスバリュ北園店より Xmas ケーキ寄贈
1月	新年会	五戸町社会福祉大会見学
2月	利用者会議、利用者学習会 協力医診察（田中医院）② まける市見学 第三者定期訪問&相談日③	ふれあいフェスティバル参加

VII. 相談支援事業所 移山寮（特定相談支援事業・障害児相談支援事業）

【指定特定相談支援事業】

平成29年度、障がい福祉サービス利用につながった新規契約数は9件、サービス利用に至らずに計画相談をしながら利用につなげる支援をしているケースは6件となっています。

計画相談では、身体障がい者手帳、精神障がい者手帳、愛護手帳を持っている方の他に高次機能障がい、発達障がい、発達凸凹、愛着障がいといった目に見えない障がいを持つ方の相談がありました。面談や事業所訪問、家庭訪問、医療機関等の訪問を通して本人の障がいの背景となっている事柄をアセスメントし、本人の生きづらさを解除できるような対応をしました。

地区に焦点を絞ると利用者の高齢化に伴い、共同生活援助事業所への入居を希望しているけれども地元でないことから遠方の事業所へ入居する、利用したい事業所があるけれども事業所側が送迎困難なので利用できない、事業所へ合理的配慮を求めても改善に至らない、短期入所を希望しているけれども地元を受け入れしている事業所がない、といった相談がありました。

1. 契約者数（H30.3月末現在）

97件

内訳：田子町2件、三戸町11件、南部町3件、新郷村3件、階上町1件、八戸市9件、
五戸町68件

2. 計画作成状況（請求月基準）

	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	合計
サービス利用支援（計画作成）	28	42	20	34	124
継続サービス利用支援（モニタリング）	69	64	58	52	243
計	97	106	78	86	367

【指定障がい児相談支援事業】

平成29年度、障がいサービス利用につながった新規契約数は8件、障がいサービス利用に至らず、計画相談をしながら障がいサービス利用につながるように支援しているケースは10件となっています。

計画相談では、保護者が障がい受容できずにいるケース、子ども自身が合理的配慮を受けられなかった結果障害サービス利用を拒否しているケース等、学校での様子、家庭での様子、医療機関での様子、育ちの経過等を確認しながらサービス利用につながるようにする為、時間のかかるケースや役場からの問い合わせで子どもの育ちや親の育て方等の見立てをつけることもありました。実際、サービス利用に至るまでは費用が発生しませんが、相談支援事業所のニーズは、子どもが健やかに育つ道筋を作ることを目的として広く機関とつながり、情報共有しながら複数の選択肢を提示するといったスキルが必要となります。

近年では育ちに困難がある子どもの背景をたどると保護者の養育能力の低さから介入が必要

なケースがあったり、子どもの行動を観察すると被虐待児症候群と思われる行動をとるケースも増えています。そういったケースには関係機関と連携することで育ちの保障ができるように支援しています。

地区に焦点を絞ると児童発達支援事業所や放課後等デイサービス事業所の希望はあるけれども地元でないことから遠方の事業所へ通うという、これらの事業所は療育が目的として利用する事業所になりますが、遠方にあることから送迎への困難さがある、といった相談がありました。

障がい児の相談と並行する保護者支援について、子どもの育つ道筋づくりが保護者の仕事であり、本人及び保護者が納得できる育ちができるように今後も対応していきたいと思います。

1. 契約者数（H30.3月末現在）

12件

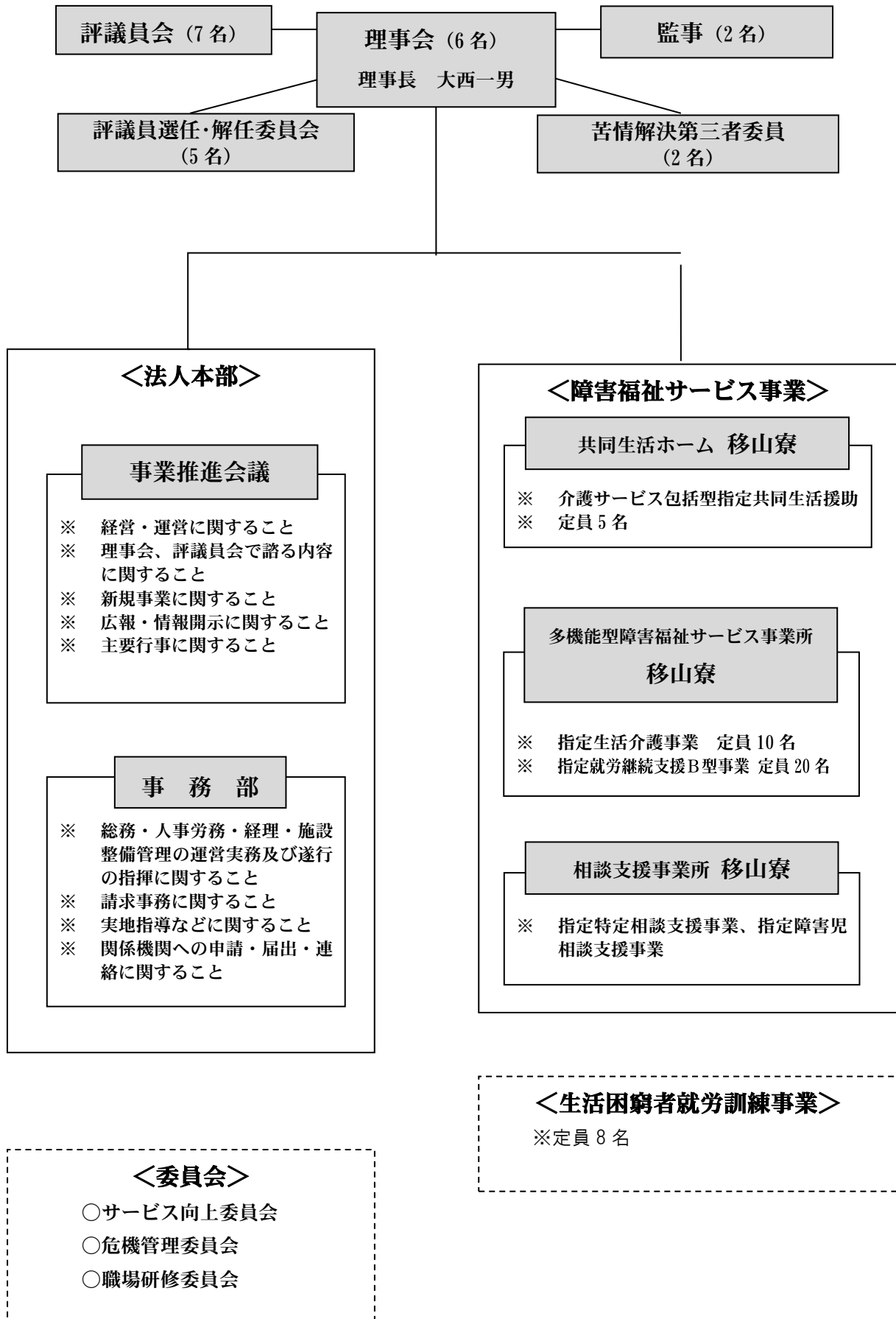
内訳：田子町3件、三戸町5件、五戸町4件

2. 計画作成状況（請求月基準）

	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	合計
サービス利用支援（計画作成）	7	5	2	4	18
継続サービス利用支援（モニタリング）	12	5	8	10	35
小計	19	10	10	14	53

附属明細書

社会福祉法人 生活・文化研究所 組織図



役員等（平成30年3月31日時点）

<役員> 【定員／現員】理事6名、監事2名

（理事長）大西一男

（理事）大西祐子、江渡まき、日向端潔、三浦とし子、菊池瑞穂

（監事）三浦啓子、金澤實

<評議員> 【定員／現員】7名

金澤宏昭、佐々木正志、赤坂静、戸舘真里子、山崎純子、向山恭子、細川克之

<評議員選任・解任委員会> 5名

大久保與一、川崎照美、大西眞一、三浦啓子、小泉文乃

苦情解決体制

事業所説明会において第三者委員を紹介し、利用者・ご家族へ体制の周知を図った。第三者委員の定期訪問、利用者との面談の機会を設け、相談しやすい環境作りに努めた。

運営推進	サービス向上委員会
苦情解決に関する体制	苦情解決責任者：大西祐子 苦情受付担当者：工藤加代子、沼沢剛
第三者委員	佐々木正志、河村祐子
主な活動内容	・第三者委員定期訪問、相談日の設置（年3回） ・利用者ご家族様アンケートの実施 等
苦情等受付件数	1件

虐待防止管理体制

内部研修会の開催、県主催の障害者虐待防止・権利擁護研修への参加、チェックリストによる点検等を行い、事業所内での虐待防止に努めた。

運営推進	サービス向上委員会
虐待防止管理体制	虐待防止対応責任者：大西祐子 虐待防止受付担当者：工藤加代子、沼沢剛
主な活動内容	・虐待防止研修開催 ・チェックリストによる定期点検 等

委員会活動

(1) サービス向上委員会

利用者満足度調査、虐待防止研修会開催、第三者委員定期訪問・相談日の設置等を行った。

(2) 危機管理委員会

ヒヤリハット報告制度の推進、職場環境点検活動、防犯研修会の開催、非常災害対策計画、防犯対策マニュアルを整備した。

(3) 職場研修委員会

全体の研修計画の策定および研修の推進に努めた。

職員研修

月	研修名	参加者
4月	職員全員研修（内部研修・2日間）	23名
	グループホーム職員会議（内部研修）	4名
	社会福祉充実計画策定等に係る説明会について	2名
	社会福祉法人のための決算実務セミナー	1名
6月	青森県東地区グループホーム連絡協議会 総会・研修会	1名
	平成29年度青森県介護支援専門員更新研修【相談】	1名
	平成29年度社会福祉施設職員経理研修（保育所以外）	1名
	食品衛生講習会	1名
7月	平成29年度青森県介護支援専門員更新研修【相談】	1名
	農作物研修会（内部研修）	7名
	平成29年度全国都道府県経営協セミナー（前期）	2名
	社会福祉法人指導監査対策セミナー	2名
8月	防犯研修会（内部研修、講師：五戸警察署地域課長斎藤氏）	16名
	平成29年度青森県介護支援専門員更新研修【相談】	1名
	平成29年度社会福祉法人のための労務管理セミナー	1名
	農業研修会（内部研修）	8名
	社会福祉法人の社会貢献活動「青森しあわせネットワーク」の拠点社会福祉法人の活動等に関する打合せ会議	1名

月	研修名	参加者
9月	労務管理セミナー	1名
	平成29年度福祉サービス苦情解決関係者等研修会	1名
10月	平成29年度相談支援従事者初任者研修（講義部分）	1名
	「LD・ADHD等の心理的疑似体験プログラム」によって子どもの理解と対応を学ぶ	1名
	八戸圏域連携中枢都市圏高齢者福祉合同研修会「地域における認知症ケア」	1名
11月	発達障害支援フォーラム（八戸・SDSとして）	6名
	重複障害児の指導法研修講座	1名
	青森県保育・障害福祉サービス事業所等認証評価制度及び福祉・介護職員処遇改善加算取得促進説明会	2名
	三八地域タウンミーティング「青森しあわせネットワーク」	1名
	八戸市障がい者相談支援事業者連絡会議	1名
12月	平成29年度全国都道府県経営協セミナー	2名
	コミュニティソーシャルワーカー養成研修（青森しあわせネットワーク）	1名
	平成29年度サービス管理責任者研修	1名
	世話人勉強会（GH）	2名
	平成29年度障害者虐待防止・権利擁護研修（従事者編）	1名
	平成29年度障害者虐待防止・権利擁護研修（管理者編）	1名
	ケース検討会（内部研修）	9名
1月	八戸市障がい者相談支援事業者連絡会議	1名
	就労支援担当者（ワークサポーター）養成研修会	1名
	ふれあい市ごのへ講習会（栄養成分表示）	1名
	社会貢献活動推進セミナー	2名
	青森県東地区グループホーム連絡協議会新春研修会	1名
	サービス管理責任者研修会	1名
	ふれあい市ごのへ講演会（農家経営について）・定期総会	2名
	農作物研修会（内部研修）	10名
2月	三戸地域生活困窮者自立支援ネットワーク会議	1名
	みどりの長ぐつシステム操作体験会	1名
	工賃向上出前講座（内部研修、講師：(株)FVP 稲山由美子）	13名
3月	特定の作業種別に特化した工賃向上研修・就労支援事業所共同受注窓口運営支援 事業事例発表	2名
	キャリアパス制度勉強会内部研修）①～④	延47名
	平成29年度指定障害福祉サービス事業者等集団指導	3名

防火管理

防火管理者の下に各棟または一定区域毎に火元責任者を定め、火災予防に努めるとともに、避難訓練及び自衛消防組織を訓練することにより、有事の場合に役立つ組織作りに努めた。

(1) 予防管理組織

区域毎に火元責任者を定め、日常の火気使用器具の火気管理・終業時の火気点検の実施、および毎月1回の建物・消防用設備の自主点検を実施した。

(2) 消防用設備の法定点検

委託業者による消防用設備の機器点検を5月に、総合点検を11月に実施し異常はなかった。

(3) 消防訓練

火災や地震等、各事業所で起こりうる状況を想定し避難等の訓練を行った。

共同生活援助	【部分訓練】7月、【総合訓練】12月
多機能型・相談支援事業（合同）	【部分訓練】6月、【総合訓練】10月

就労継続支援B型事業・生産活動について

加工、農業、受託、手芸の4種類の生産活動を提供。エンパワメントの視点を意識した「利用者中心の生産活動」を推進し、加工作業やごぼうの袋詰め作業等で、利用者主体で行える仕事の範囲がさらに広がった。

【生産活動の内容】

加工	菓子類・もち類・惣菜類等の製造販売 等
農業	野菜・豆類・きのこ・山菜・花卉の栽培販売、薪の製造販売、農産物加工品の製造販売（寒大根、かぼちゃプリン） 等
受託	野菜袋詰め作業、掃除・運搬作業、草取作業、雪片付作業、犬の散歩 フルーツキャップ折り作業 等
手芸	裂織、編み物、古布小物、衣服等の製作販売 等

【主な販売先】

主な出荷先は直売所と地元商店。外販活動やイベント販売も積極的に行った。

直 売 所	ふれあい市ごのへ、アグリノ里おいらせ、おやさいの集会所、マエダ、倉石温泉、野菜クラブ
地 元 商 店 そ の 他	岡村商店、金沢商店、尾形精肉店、松尾医院、さくら美容室、素心苑 まちカフェ（下大町）
受託契約先	北都ビルシステム（小渡平公園トイレ掃除、ゴミ収集作業）、エコファーム（ゴボウ袋詰作業）、コムラ醸造（ごぼうカット作業）、（有）今蔵（牛の世話）、倉石地域振興公社（軽作業）、農事組合法人くらいし（農作業） ㈱桂資源（ゴミの仕分け作業）、他
外 販	五戸町社会福祉協議会……………42回 ケアステーション浄信館……………24回 まちカフェ（五戸総合病院）…10回

【主な販売活動・イベントへの参加 等】

4月	五戸春まつり出店
5月	五戸ぎゅぎゅっとお楽しみBOX 発送（～5/27、182箱受注） 五戸社協環境整備（草集め）①、 新郷村チャレンジデー出店
6月	のぞみ園祭出店、五戸社協環境整備（草集め）②
7月	三戸郡社会福祉大会出店、青森銀行納涼パーティー出店 浄信館まつり出店、ビックリ夜店出店
8月	特別養護老人ホームひだまり夏祭り出店、お盆セット、きんか餅販売 五戸社協環境整備（草集め）③
9月	三戸郡愛の輪レクリエーション 出店 彼岸だんご販売、赤そば花まつり 出店
10月	市民ボランティアフェスティバル（ワーキング研究会を通じて販売） 五戸ぎゅぎゅっとお楽しみBOX 発送（～11/4、204箱受注） 五戸町社協草集め④ 五戸町社協福祉バザー出店 じばさんまつり出店（ユートリー）
11月	五戸町文化祭 商工会婦人部を通じて加工品販売 健康まつり（五戸公民館）出店
12月	新郷村社会福祉大会出店 かぼちゃプリン販売（アピル五戸コラボ企画） 正月もち販売
2月	豊間内地区コミュニティまつり（納品のみ） ほのぼの交流出店 坂の上のにじいろ上映会出店
3月	彼岸だんご販売

【工賃向上計画の取り組みについて】

	主な方策	取組状況
事業全体	①利用者の力を活かす環境づくり・支援強化	・道具類の準備、後始末が出来るようになることが課題だった。農場では草取り鎌に名前を付け所定の場所に片付けることなどができるようになっている。
	②チラシ配布、HP 掲載による計画的な情報発信	・イベント用のチラシ作りと配布、BOX 等の販売情報をホームページに掲載するなどした。
加工	①生産体制の整備	・環境が整い、加工場担当職員と利用者を増員。新加工場にも慣れてきた。ホワイトボードを使用し配達の流れを明確化したことでさらに、効率的になった。
農業	①新規事業への取り組み ・花卉栽培 等	・野菜類の販売が出来ない日も花卉でほぼ毎日販売できた。 ・にんにくの選別作業が工賃アップにつながった。 ・シソの実も需要があり、買取先が単価 UP をしてくれたが、収穫時間が確保できず、収穫量・販売高とも減となった。
受託	①施設外支援の強化（継続）	・力のある利用者さんは、企業等での就労に結び付けている。施設外支援先に定期的に訪問し、利用者の様子を伺う等し、企業等との連携を図った。次年度からは施設外就労を推進する。
手芸	①売れ筋商品の製作	・ボランティアさんが裂織作業に加わり、裂織製品を作れるようになった。編物製品も丁寧な仕上がりで、購入される方が多い。 ・イベント販売等で手芸製品が人気。

生産活動収支実績と工賃支給実績 ※目標工賃月額 17,594 円、目標工賃時給額 200 円

事業名	4~3月				合計	昨年度実績	前年比
	加工	農業	受託	手芸			
A. 売上高	8,412,633	3,208,680	2,873,586	353,824	14,848,723	14,327,979	103.6%
B. 支出	4,483,319	1,850,895	435,345	251,708	7,021,267	6,445,282	108.9%
C. 工賃支給前収支差額(A-B)	3,929,314	1,357,785	2,438,241	102,116	7,827,456	7,882,697	99.3%
【売上比率】	46.7%	42.3%	84.9%	28.9%	52.7%	55.0%	95.8%
D. 工賃額	1,086,093	2,317,831	4,298,120	125,412	7,827,456	7,921,184	98.8%
E. 工賃支給後収支差額(C-D)	2,843,221	▲ 960,046	▲ 1,859,879	▲ 23,296	0	▲ 38,487	—
F. 積立金の積立・取崩					—	38,487	—
	F. 利用者延数				313人	356人	87.9%
	G. 平均工賃月額(D/F)				25,007.8円	22,250.5円	112.4%
	H. 労働時間数				29,255.50時間	32,026.25時間	91.3%
	I. 平均工賃時給額(D/H)				267.6円	247.3円	108.2%